

素早い操作を身に付ける

作業効率を高めるための定番技は、ショートカットキー。OS やソフトのメニューからたどって行う動作を、複数のキーを同時に押すことで実現する機能です。

ショートカットキーは自分でも設定できます。よく使うソフトの起動に、特定のショートカットキーを割り当てられる。自分で指定したソフトにショートカットキーを割り当てる方法の例。スタートメニューから、割り当てたいソフトを選んで右クリックし、「プロパティ」を選択(上の図)。「ショートカットキー」タブの「ショートカットキー」を指定し、設定したいキーの組み合わせをキーボードで押

すと、其の組み合わせが自動的に表示される(下の図)

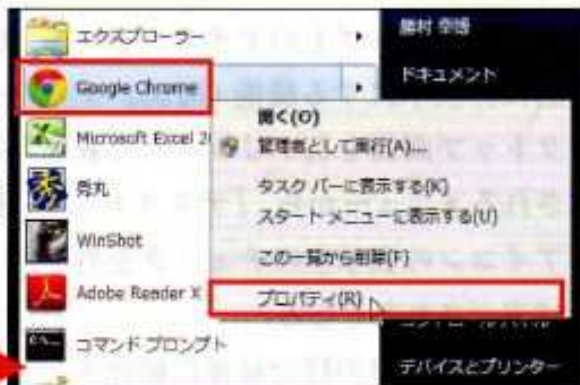
本日の説明は、Windows 8 のパソコンを用いるので、図の「上」の部分には表示できません事を予め断りいたします。

本論の「下図」の部分は、windows 7、Windows 8 共通です。

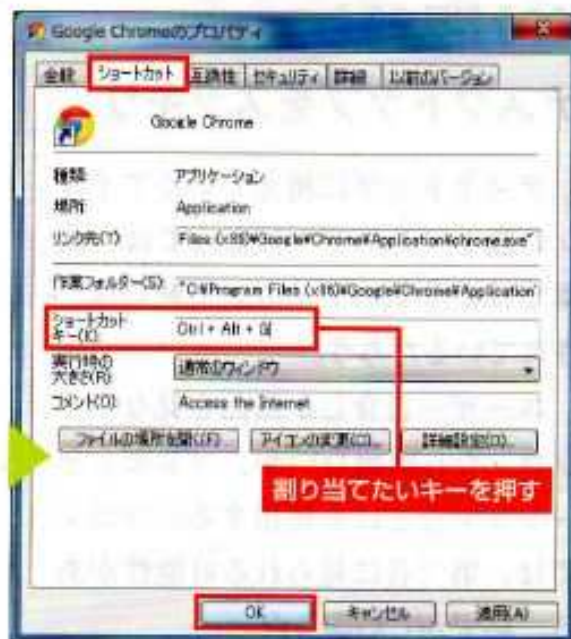
今回は、「ペイント」で説明いたします。

ショートカットキーでソフトを起動する

図3 自分が指定したソフトに、ショートカットキーを割り当てる方法の例。スタートメニューから、割り当てたいソフトを選んで右クリックし、「プロパティ」を選択(左)。「ショートカットキー」タブの「ショートカットキー」を指定し、設定したいキーの組み合わせをキーボードで押すと、その組み合わせが自動的に表示される(右)



対象ソフトの「プロパティ」を表示させる



割り当てたいキーを押す